

超整理！(2) 奈良時代の政変

〈天皇〉		〈都〉	〈政治・政変〉	〈政権の推移〉
文武	祖母の持統が後見 草壁皇子の遺児	藤原京	701 国号 <u>日本</u> 制定 701 年号 <u>大宝</u> 制定 701 『大宝律令』 <u>刑部親王</u> 、藤原不比等	文武天皇…祖母の持統が後見。 右大臣 <u>藤原不比等</u> 政権。
元明	草壁皇子妃、 文武天皇の母。 聖武が成人する までの中継ぎ。	武蔵国で銅発見 平城京遷都	708 <u>和同開珎</u> 鑄造 710 <u>平城京</u> 造営 712 『古事記』編纂	
元正	元明の娘。 生涯独身。美人 聖武が成人する までの中継ぎ。		720 『日本書紀』 <u>舎人親王</u> 、藤原不比等	717 二男の <u>房前</u> (北家)も公卿に。 720 藤原不比等死去。4子まだ若い
聖武	<u>光明皇后</u> 皇后は不比等の娘		722 百万町歩開墾計画 723 三世一身法 724 <u>多賀城</u> 設置 (陸奥国) 729 <u>光明子</u> 初の人臣皇后	長屋王 政権。 729 <u>長屋王の変</u> 光明立后に反対した長屋王を 藤原4子が自害に追い込む。 藤原4子 政権。 737 藤原4子ら相次いで病死。
		737 吉備真備・玄昉帰国 740 <u>九州で藤原広嗣の乱</u> →紫香楽、難波、恭仁京 743 <u>聖武永年私財法</u> 743 <u>大仏造立の詔</u> 大仏造立@紫香楽宮	橘諸兄 政権。	
		聖武は大仏造立に専念する ため娘の <u>孝謙</u> に譲位 権力は <u>光明皇太后</u> 握る	同じ藤原氏出身の光明皇太后の信任 信任 → 藤原仲麻呂 政権。	
孝謙	聖武と光明皇后 の一人娘。		孝謙が母光明皇太后の意見で淳仁天皇に譲位。 孝謙上皇の病を <u>道鏡</u> が 治療。	淳仁天皇が信任する仲麻呂に <u>患美押勝</u> の氏名を賜う →諸兄の子の <u>橘奈良麻呂の変</u> 760 光明皇太后崩御、後ろ盾失う。
淳仁	<u>藤原仲麻呂</u> の家で育つ。		孝謙上皇は、まじめな尼僧。 →同じ僧の <u>道鏡</u> 信任 道鏡、太政大臣・禪師就任。 道鏡、 <u>法王</u> 即位。 770 <u>宇佐八幡神託事件</u> (和気清麻呂の活躍)	764 <u>患美押勝の乱</u> 、 →押勝敗死、淳仁天皇 <u>淡路</u> 流罪。 764 孝謙重祚 (称徳天皇) 道鏡 政権。
称徳	孝謙重祚。 尼僧のまま即位		称徳の遺詔(いしやう)を 式家の <u>藤原百川</u> が改ざん	770 称徳天皇崩御。道鏡 <u>下野国</u> に左遷 藤原百川 政権。
光仁	白壁王。天智系	長岡京 平安京	百川と同族の <u>式家</u> 信任 長岡造宮使藤原種継暗殺	藤原百川、桓武の即位を見ずに早世。
桓武				